



政策研究会
種村 繁徳
議員

▼市庁舎建設について

- Q 市民の声を幅広く聞き入れ、市民の理解を得ることも大事だと思いがどうか。
- A 市民の意見、要望を幅広く拝聴するため市庁舎整備懇話会を設置し、新庁舎の建設が必要との提言をいただいた。また議会においても市庁舎建設特別委員会の中で新庁舎の位置、規模等を議論いただいているので、二十三年度には懇話会の提言や議会の意見を尊重しながら、基本構想を策定したい。また、基本構想の策定には、パブリックコメントなど市民の意見を聞く機会を設けたいと考えている。

▼医療対策について

- Q 市民が安心して受診できる救急医療体制が必要だと思いがどうか。
- A 軽傷患者に対する一次救急医療対策として、日曜、休日に在宅当番医制を島原医師会に委託して実施している。また重篤患者に対する二次救急医療対策として、島原半島内の六病院での病院群輪番制病院運営事業により二十四時間三百六十五日の二次

救急医療体制を確保している。

- Q ドクターヘリはどのような出動態勢になっているのか。

A 二十二年のドクターヘリの利用状況は四十八件である。ヘリの運航は長崎県ドクターヘリ運航要領に定められており、出動対象地域は長崎県内である。ドクターヘリは有視界飛行のため、出動は日没の三十分前までとされ、夜間や気象条件が悪いときなどは、海上自衛隊のヘリが利用される。

▼家畜伝染病防疫対策について

- Q 鳥インフルエンザの防疫体制はどうなっているのか。

A 二月二十四日に島原市高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部を設置するとともに、島原港や島原市役所、公民館等での車両消毒、靴裏消毒、養鶏農家への消石灰配布、市広報やホームページ等で愛玩鳥飼養の注意事項周知、本市で発生した場合の緊急業務対応職員配置計画の作成等を実施している。

【その他の質問項目】

- ◇スポーツの振興について
- ◇耕作放棄地解消基盤整備事業について
- ◇第一小学校の新校舎建設について



新風会
本田 順也
議員

▼公共交通網の整備について

- Q 福岡までの高速バスの停留所をふやすように要望していたが、その後の経過はどうか。
- A 停留所の増設をお願いしているが、高速バスは、短時間でスムーズな運行を目指しており、現状では難しいと聞いている。

- Q 島原鉄道の利用者をふやす工夫はしているのか。

A 企画乗車券の利用者に対するポイントカードを発行し、鉄道利用者の利用頻度の増加を図る企画乗車券の実施事業や、鉄道沿線の見どころを提案したマップを作成し、周遊観光を促す総合的な沿線のマップの作成事業などに取り組んでいる。

- Q 有明庁舎付近に駅の新設を希望する声が多いが、現在はどうなっているのか。

A 二十年度に実施したアンケートでは、島鉄湯江駅と大三東駅間に新設のニーズが高いという結果が出た。一方で、市の財政負担が発生するのであれば、駅の新設は必

要ないという意見も多数あつているので、十分な検討の必要があると思つている。

- Q 循環バスの利用者はどれくらいか。
- A 一便当たりの利用者は、二十一年度が四・八人、二十二年度が九・五人である。

- Q 九州新幹線の利便性向上にどのようなことを考えているのか。

A フェリーと鉄道、バスとのアクセス円滑化として、島原港ターミナルビル内に大型液晶モニターによる鉄道、バスへの乗り継ぎ案内設備の設置を行つており、利用者の利便性の向上に努めている。また、島原港から島原外港駅までのスムーズな移動を実現するため、カラー舗装と、路面案内表示設置の工事を進めている。また、三月から緊急雇用創出事業を活用した熊本駅と島原半島を結ぶシャトルバス運行を開始しており、観光客の利便性の向上に努めたい。

【その他の質問項目】

- ◇大三東漁港並びに周辺の整備について
- ◇庁舎建設について
- ◇中学生の生活指導並びに学校環境について
- ◇有明庁舎前大野縦道線側溝の整備について
- ◇地域高規格道路について